

平成20年度第40回愛知県幼児視聴覚教育研究大会



開催日 平成20年10月29日



会場 名古屋市中村文化小劇場



内容 午前の部 NHKすくすく子育てスクール



午後の部 研究報告・講演

日程

開催日 平成20年10月29日(水)

午後の部

13:00 開会行事

13:30 研究報告・質疑応答

明照保育園 中島 美奈子

14:15 講演(鈴木 みゆき 氏)

～講師紹介～



東京生まれ。

お茶の水女子大学大学院家政学研究科児童学専攻修了。医学博士。和洋女子大学人文学群心理・社会学類 人間発達学専修こども発達支援コース教授、日本音楽著作権協会正会員 家庭では3児の母趣味は遊び歌を創ること(作詞)。NHK「みんなのうた」「おかあさんといっしょ」「すくすく赤ちゃん」等に詞や振り付けを提供(「チュンチュンワールド」「ペンギンパラダイス」「ごきげんビクス」他)。主な著書として、「早起き・早寝・朝ごはん」(芽ばえ社)、「早起き脳は子育て脳」(けやき書房)、「保護者もいっしょ-生活リズム改善ガイド」(ひかりのくに)、「0～1歳の保育資料12ヶ月」、「1～2歳の保育資料12ヶ月」、「2～3歳の保育資料12ヶ月」(以上、ひかりのくに)など。また、ビデオ「アンパンマンとはじめよう」シリーズ(TMS エンターテインメント)の監修・指導なども手がけている。

『保護者といっしょに考えよう。子育て生活 メディアとリズム』

15:15 閉会行事

15:30 終了

午前の部 NHKすくすく子育てスクール

● 9:30～受付

● 10:30～12:00

第1部 「子育てミニトーク・Q & A」

講師：鈴木みゆき(和洋女子大学 教授)

司会：天野ひかり

第2部 「親子であそぼ」

進行 研修保育園 野田 久美

アコーディオン演奏 テリー柴田

出演 明照保育園職員・円通寺保育園職員

子どもたちの心豊かで落ちつける生活を求めて

TVとのよりよい環境を保護者とともに

はじめに

数年前、日本小児学会などから、「子どもとメディア」についての提言がなされました。今や、だれにとっても身近な存在で、子育てをする家庭の中にも当たり前のようにあるテレビですが、それにより子どもの成長に、そして子育てのあり方に警鐘が鳴らされています。では、実際にどうすればいいのでしょうか。子育ての中でテレビとのつきあいに悩む保護者は多くいるものと感じます。

園では、保育の中のひとつの環境としてテレビ視聴を行っています。今回、園にも家庭にもあるテレビについて、保護者とともに考えてみたいと思い、この取り組みを始めました。

研究のねらい

- ①子どもたちを取り巻く生活環境の中で、テレビがどんな存在となっているかについて、子育てをしている母親を中心に調査をし、子どもの視聴状況を把握するとともに、保護者がテレビに対してどんな思いを抱いているかを知る。



- ②保育園において、友達や保育者と一緒に視聴を楽しむ様子を保育者から保護者に伝えたり、実際に保護者と子どもが関わり合って視聴をする機会を園での活動で設け、子育てにおけるテレビとのつきあい方を保護者とともに考える。

(平成18年度 愛知県内の保育園で実施 600名の保育園児家庭から回収)

みなさんのご家庭では、テレビはどんな存在になっていますか？朝起きたら時計代わりにつける人から、みんなでテレビを囲んで大笑いしたり・・・家族のだれにとってもテレビは大切で、あたりまえにある空気のような存在になっています。よりよいテレビとのつきあい方を考えるために、子どもたちの利用状況を教えてください。下記のアンケートにご協力をお願いします。

- ①子どものクラス()組 年齢()才 ()ヶ月)
- ②子どもの名前()
- ③家のテレビの台数()台
- ④1日の平均視聴時間 平日()時間、休日()時間
[平日内訳]テレビ放送()時間、ビデオ()時間、テレビゲーム()時間
[休日内訳]テレビ放送()時間、ビデオ()時間、テレビゲーム()時間
- ⑤調査期間中()月 ()日～ ()月 ()日)のある1日の視聴の時間帯を塗りつぶしてください
- | 平日 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
|----|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
- | 休日 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
|----|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
- ⑥子どもはだれと見ることが多いですか？多い順に順位をつけてください。
()兄弟()母親()父親()祖父()祖母()その他の家族()友だち()ひとり
- ⑦どのようなテレビ番組を見ているか？よく見ている順に番組名を書いてください。
(1) (2) (3) (4) (5)
- ⑧下記のNHK放送を見ていますか？見ていれば、()に○を書いてください。
()いないいいないばあっ！ ()おかあさんといっしょ ()あいので ()つくってあそぼ
()ピタゴラスイッチ ()わたしのきもち ()こどもにんぎょう劇場 ()しぜんとあそぼ
- ⑨ビデオ(DVD)作品を見たら、よく見る順に作品名を書いてください。
(1) (2) (3) (4) (5)
- ⑩テレビゲームをしていたら、よくする順にゲーム名を書いてください。
(1) (2) (3) (4) (5)
- ⑪子どもとテレビに関する約束事やおうちの方の工夫がありますか？ありましたら書いてください。

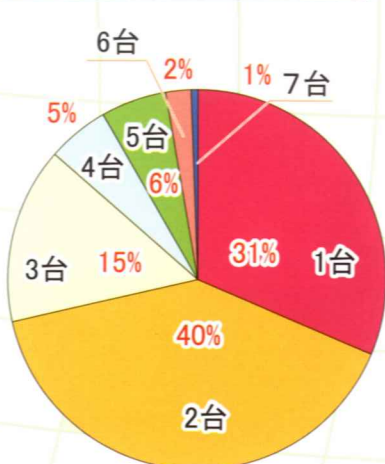
○12子どものテレビに関する様子について、心配事や感想などありましたら、書いてください。

○13家族で見てよかった、もしくはよいと思われる番組名(曜日と時間)がありましたら教えてください。

ご協力ありがとうございました。

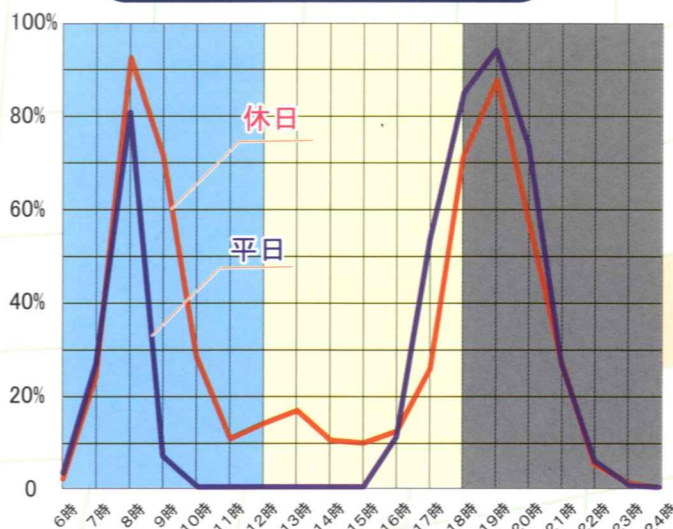
乳幼児のテレビに関する調査結果

家のテレビ台数

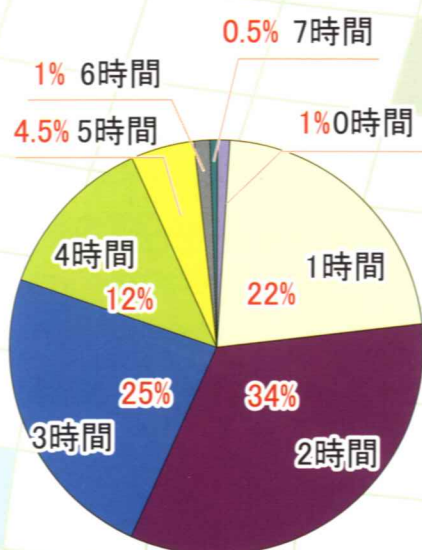


※人数は割合 (%)
で表示

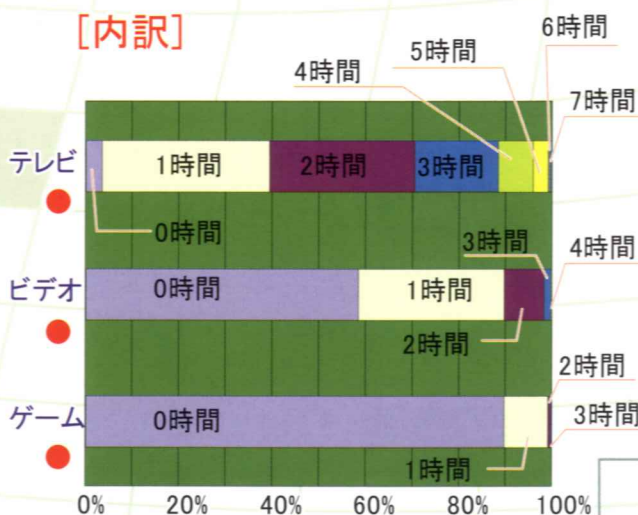
テレビを見る時間帯グラフ



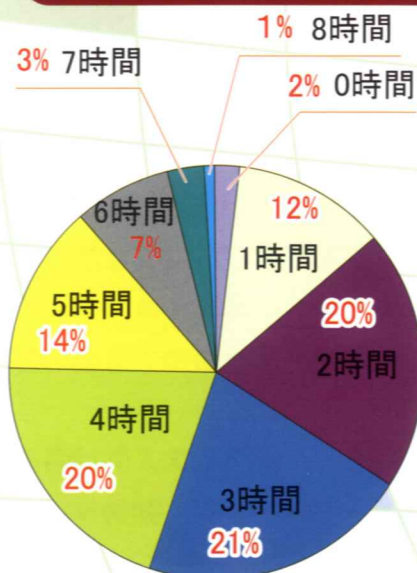
平日、テレビ等見ている時間



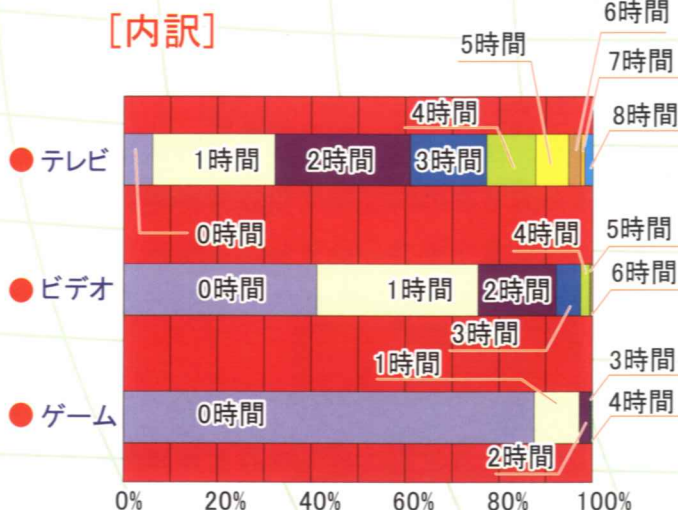
[内訳]



休日、テレビ等見ている時間

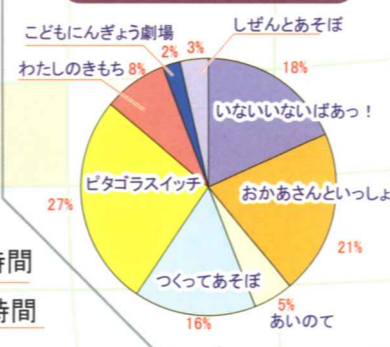


[内訳]



NHK放送

8つの番組を見ている割合



考 察

- ・視聴時間にかなりの幅があり、意識的になのか家庭の生活スタイルなのかは判明しないが全く見ていないという家庭から、7時間という保育園での生活時間をのぞけば、起きているほとんどの時間を見ているのではと思われる家庭まであった。
- ・平日の視聴時間は、2時間が最も多く（34%）、次いで3時間（25%）、1時間（22%）であった。ただ、これは保護者が意識して計ったものというよりは、家庭でテレビがついていて、家族も含めて何となく見ている時間も含まれていると思われる。
- ・それでも今回の調査を保護者にしてもらうことで、今まで意識しなかった子どもの視聴時間等に、少しでも関心を持つことにつながったのではないかとと思われる。

保護者の思い

◎テレビに関する約束事

- 「近付いて見ない」・「食事中は消す」・「時間を決める」・「8・9時から大人番組」・「9時に消す」・「明るくしてみる」・「一緒に見て会話」・「やることしてから」・「終わったら消す」・「番組を決める」・「起きてすぐ付けない」・「繰り返し見ない」・「寝て見ない」・「みんなで見る」

◎テレビに関する感想

- 「NHKはうたや踊りが勉強になる」・「外国への興味が持てる」・「子どもの興味のあるものは一緒に見て世界が広がりすばらしい」・「幅広い音楽が聴ける」・「どうしてもみたいわけではない様子」・「集中して長く見られる」

◎テレビに関する心配事

- 「影響を受けやすい」・「過激な描写・戦うシーンが心配」・「画面に近づく」・「繰り返し見たがる」・「雨の日は長く観る」・「スイッチ切るタイミング」・「することがないとスイッチつける」・「祖父母と長時間見てしまう」・「ダラダラ見る」・「1人で見る」・「見ていると返事をしない」・「目が悪くなるのではないかな」

◎家族で見ると良いと思われるテレビ番組

- 「しむら動物園・どうぶつ奇想天外等のどうぶつを扱ったもの」「ダーウィンが来た」「サザエさん」「ちびまる子ちゃん」「まんが日本昔話」「ピタゴラスイッチ」「からだであそぼ」など

考 察

- ・実際になかなか見られないものを目にしたり、知識を得ることができたりする良さを感じつつも、テレビとのつきあい方をどう身につければよいか悩む親の姿がある。
- ・子どもが集中して長時間見ている状況を悩む親と、好ましく思う親の両方がいて、テレビへの価値観、つきあい方がそれぞれの家庭のスタイルにゆだねられ、子どもの成長にとってどうあるべきかという視点で考える場が必要であると思われる。
- ・テレビを見る時間帯の結果から、視聴する時間帯が食事時間と重なっていることが言える。これが母親の悩みにもなっているものの、一方でこの時間帯に良質の番組があることが、家族の団らんにつながるとも言える。
- ・ゲーム利用に関しては、乳幼児期はまだ低いものの、親などの大人の状況に影響を受けつつある姿も感じられた。
- ・親子で視聴するのにふさわしい番組に、子ども向け番組のみでなく、動物を扱った番組や大人向け番組も挙げられた。子どものテレビ視聴のあり方、楽しみ方を保護者と考え、実践していく際に、動物を扱った番組に焦点をあてるとよいのではないかと考えられる。

実態調査のまとめ

以上のような家庭での実態を受け、テレビを簡単に悪者にするのではなく、見方によって子どもの成長に大変有効なものとなることと共に、その見方が少しずつでも子ども達の身についていくよう、

- ①みんなで見る楽しさを味わう
- ②番組が終わったらスイッチを消す
- ③番組で得た感動を生活やあそびに活かす

などを、園で実践し家庭に伝えていくことが大切であると思われた。

保育園での実践から

実施園 一宮市 研修保育園 (定員90名)

園児数 95名 対象とする年長児 22名 (男児13名、女児 9名)

番組研究

「ダーウィンが来た！」 (NHK総合)

動物や植物などの様々な生き物が取り上げられ、大人が見ても知らなかったことや不思議なことに触れることができる。子どもと一緒に視聴することで、共感したり子どもの質問と一緒に考えたり想像したりすることのできる番組といえる。幼児には少し難しいと思われる内容であるが、30分間の番組が第一章、第二章、第三章と3部に分かれ、飽きさせないような構成となり、合間に「ヒゲじい」と呼ばれるキャラクターが登場し、子ども達の関心をひくことができる。

ダーウィンの動物大図鑑 『はろー！あにまる』 (NHK BS)

「ダーウィンが来た！」を幼児向けに短く編集し、園児たちにとっても大変見やすく、楽しく、集中して見ることができる。ただ、BSであるため、子ども達の中では家庭で見ている様子はあまり見られない。

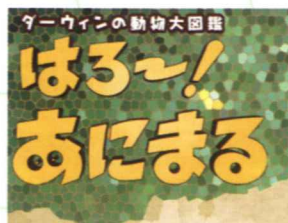
実践内容

- ① 毎年度クラス懇談会を実施して、普段見ることのできない園での生活をビデオによりご覧いただくと共に、その時その時の子どもの姿をふまえての保育の思いを担任から保護者に伝えることで、家庭からの理解や協力が得られるよう働きかけていた。そこで、今年度は1歩踏みだし、保育園でのあそびを親子で実際に体験することで、親子がふれ合う大切さを実感できるように計画した。
- ② その遊びのひとつとして、親子視聴も行った。保育園では、あそびのひとつとして視聴活動も行っている。保育園でのテレビ視聴は、子どもだけで視聴することではなく、友達や保育者と一緒に視聴することで、感じたことを発言したり、笑い合ったり、共感したりすることができる。このような視聴スタイルを家庭へも届けたいと願った。

視聴した日 5月14日 (水)

視聴番組 「はろー！あにまる」

ライオンの子どもたち



親子視聴後の保育者の感想

- ・子ども達は、園でテレビを見ることには他の遊びと同じく慣れているものの、今回はうちの人と見ることで、いつもと違う表情が見られた。
- ・園側からもしっかりスキンシップをとってほしいと伝えたことで、5歳児とはいえ、お母さんの膝に乗っていたり、ぴったりと寄り添っている子もいて、とても嬉しそうだった。
- ・お母さんに一生懸命お話ししている姿が印象的だった。
- ・テレビを通してお母さんと子どもがふれ合うことが出来たと思う。
- ・楽しみながら見ている親子と、親子で見ることに慣れずぎこちなさを感じられる親子と、5歳児の中でも差があった。
- ・家庭でもこのように親子で関わって、落ち着いた時間が持てたら子どもの情緒の安定やよりよい成長につながると思う。

親子視聴後の保護者からの感想

- ・子どもとこうやってみることが新鮮だった。
- ・子どもが1人で見るよりも嬉しそうだったので驚いた。
- ・テレビを見ながら、いろんなことをお話ししてくれた。
- ・うちでは、なかなか忙しくて出来ないかもしれないが、たまにはこうやって子どもと見てみたい。
- ・「はろー！あにまる」は、BSでうちでは見られないので、「ダーウィンが来た！」を見てみようと思う。



その後の家庭での様子（保護者の話から）

10月ごろ、懇談会で紹介した『ダーウィンが来た！』の家庭での視聴の様子について尋ねた。毎週ビデオに録画をしてみている家庭があった。視聴中は番組に見入って発言はほとんどなく、見終わった後や、しばらくしてから発言の方が多い。特に、動物が動物を食べるシーンが印象的らしく、怖がったりすることはないが、「いじわるしてだめだよね。」といった反応がある。他には誕生シーンや動物の求愛行動などにも関心があり、オスの行動を見て、「パパはこんなことしないよね。」と言ったりしている。この家庭では、午後7時30分からの放送は生活リズムにはうまく入らず、ビデオによる視聴がほとんどである。

他にやはり番組の紹介後、毎週午後7時30分からの放送を母親と視聴したり、父親とも一緒に視聴しているようである。こちらでもやはり視聴中は番組に集中し、ほとんど発言はないようである。

時間の経過はあっても、番組で取り上げられた内容についての会話を楽しむことができているようである。

「ダーウィンが来た！」を園で視聴する

- ・子ども達からも「ダーウィンが来た！」を家庭で見ているという話を聞き、園で視聴を試みる。
- ・30分間という長い番組であるため、子どもの思いや状況に応じてスイッチを消すようにする。
- ・「ダーウィンが来た！」～ワニガメ～ を視聴する。(10月1日)

第99回

2008年 4月放送

釣りをする“怪獣”



子どもたちの様子

生き物のリアルな動きに息をひそめて見入っていた。大人のカメが生き物を食べる時は「かわいそう」とつぶやく子ども達が、生まれたばかりの子どものカメがメダカを食べる時になると、やったーという表情になり、子ガメの思いに寄りそう姿が見られた。やや難しいクイズや環境の話の場面では、少し画面から視線が離れていたのも、園ではそこまでの視聴で終わった。家庭ならば、親に気軽に質問できるのではと推測された。

子ども達が興味のある題材だったこともあるが、視聴を通して、5歳児は「ダーウィンが来た！」を楽しむことが出来ることが感じられたため、この様子をさらに保護者に伝え、家庭でも質問に答えたり考えたりしながら楽しく見ることを呼びかけたい。



まとめと課題

今回、テレビを利用することを保護者とともに考えすすめてきた。それにより、保護者がテレビに対して抱いている価値観や悩みが様々であることが分かった。また、保育者と保護者が子どもの成長を考え合うためのひとつに、テレビという環境も積極的に取り入れて

いく必要があることを感じた。

保護者の方には、調査を通じて、今や子育て環境の中に当たり前のようにあるテレビについて考えるきっかけとなったといえる。

テレビは、利用の仕方によっては有効なものになることを、保育の中だけでなく、家庭での生活や子育ての中でも、テレビを子どもが1人で見るのではなく、家族で楽しみ、落ち着くことのできる環境のひとつとして活かしてほしいと願い、これからも、保護者との関わりの中で、家庭にも園にもあるテレビとのつきあい方について考える機会を大切にしていきたい。

平成21年度

第13回視聴覚教育総合全国大会 合同大会(愛知大会) 第60回放送教育研究会全国大会

【大会へのおさそい】

近年、驚くようなはやさで映像関連機器や情報通信技術が発達しています。教育の場においても、薄型・大型のデジタル映像機器、地上デジタル放送、小型・高照度のプロジェクター、電子黒板等が日常のものとなりました。また、ブロードバンド化されたインターネットや校内にあまねく張り巡らされたネットワークの活用も当たり前の時代がやってきました。社会においても、20年前に提唱されたユビキタス・コンピューティングは現実のものとなりつつあります。

このように、わたしたちは高度に情報化され、有機的に関連し合うネットワーク社会に生きています。それらを効果的に活用すれば、「いつでも、どこでも、だれでも」必要な情報を学習に役立てることができます。放送をはじめとした多様なメディアや視聴覚機器、ICTを活用し、さらに体験的な活動と組み合わせることで、情報読解能力や情報モラル対応力、コミュニケーション力をはじめとする豊かな人間関係構築力を育みたいと考えています。めまぐるしく変化し進展していく社会に対応し、人と人とが関わり合う社会の一員として、誰もがたくましく生きる力をそなえ、豊かな社会をつくっていくことを願っています。

以上の考えに立ち、視聴覚教育総合全国大会と放送教育研究会全国大会との3回目の合同開催となる本大会は、授業公開等の実践が中心になっており、メディアを活用した豊かな教育活動を改めて学び合うものとなります。多くの方々のご参会をお待ちしております。

平成20年10月 合同大会(愛知大会)実行委員長 江村 力

I 大会主題 『ネットワーク社会における豊かな学びとメディア』

II 主 催

全国放送教育研究会連盟/NHK

視聴覚教育総合全国大会連絡協議会

日本学校視聴覚教育連盟 全国視聴覚教育連盟 全国高等学校メディア教育研究協議会
(財)日本視聴覚教育協会/(財)パナソニック教育財団

III 開催日程 平成21年10月27日(火)・28日(水)

幼稚園・保育園

● 27日 円通寺保育園(愛知県豊橋市)保育公開

〒441-8157 豊橋市上野町字上原101

電話0532-45-5256 FAX0532-47-4267

10:30

11:00

11:40

13:30

16:00

受付

保育公開

移動昼食

保育研究

MEMO

団体	所属	研究員氏名
県保	研修保育園	野田 久美
市保	島田第二保育園	後藤 のり子
公幼	名古屋市立吹上幼稚園	高桑 ちづ子
県保	明照保育園	中島 美奈子
県保	白鳥保育所	吉岡 洋子
県保	青山保育園	伊藤 洋子
県保	円通寺保育園	安食 幹人
市保	中村保育園	宇都宮 美智子
市保	水広保育園	近藤 寛
市保	名古屋市上飯田南保育園	加藤 晴美
市保	名古屋市高針北保育園	杉坂 伸
公幼	名古屋市立大高幼稚園	菅沼 公子
公幼	碧南市立大浜幼稚園	鈴木 正枝
公幼	半田市立成岩幼稚園	榎本 有子
公幼	名古屋市立報徳幼稚園	持丸 幸枝
NHK	NHK名古屋放送局事業部	阿部 圭吾

AIYOUSHI

愛知県幼児視聴覚教育研究会

2008

